

# ムラ染めになってしまってお困りの方へ…

●ヘナで長期間染めている方から、「ムラ染めになってみともないので、なんとかならないだろうか」とご相談を受けます。

「ライトブラウン」「ブラウン」「ダークブラウン」…などのブレンドされたヘナを使って「1ヶ月か2ヶ月に一度のヘナパック & 毎週の数回のシャンプー」をしていると、髪を黒っぽくする薬草「インディゴ」のブルー系が早くに色落ちしてしまいます。・・・このため「オレンジ色」「黒色」また髪の生え際が「白髪」と3種類の色ムラのある髪になってしまいます。これからご紹介するのは「ツータッチ染め」、ムラ染めになった髪に一番自然な色合いに染める方法です。ちょっと面倒ではありますが、おススメのパックですので、ご参考にしてください。（編集部:工藤 元子）



## 用意するヘナ

『I.P.M』  
リーフ・ヘナ  
100g・・・  
1,620円

リーフの葉に含まれる成分が白髪をオレンジに染めます。

『I.P.M』  
ハーバル・ブレンド  
100g・・・  
1,944円

アーメラキー・シカカイ・ブラーミ・アルニカ・パラ・ビヤクダン・ヘナの7つのハーブが髪と頭皮に栄養を与えます。

『I.P.M』  
インディゴ  
100g・・・  
2,160円

髪に栄養を与え、ヘナでオレンジ系に染まった髪を日本人にあった髪色に整えます。

『I.P.M』  
スパイス・  
アーメラキー  
100g・・・  
1,620円

ビタミンCが豊富な果実の粉末で、髪の健康を保ちます。

## ツータッチのやり方

(ヘナはセミロングの長さの量です。)

- 髪を良く濡らします。
- IPMヘナとアーメラキーを溶いて全体に塗布し、タオルで包み保温キャップをかぶり30分おきます。  
●ヘナ大さじ4 ●アーメラキー大さじ1)

お湯ですすぎ、タオルドライ。  
白髪がオレンジ色に染色されます。

- 次に・・・その上からコームブラシなどを使い、白髪がオレンジ色に染色された部分にのみ、コームブラシ等を使用して、  
●「インディゴ」大さじ4 ●「リーフヘナ」小さじ1、  
●「ハーバルブレンド」小さじ1

…をお湯で溶いたものを塗布します。  
※パックの量は髪の長さで違い、だいたいヘナとインディゴは大さじ4～6杯ですが、部分的のみ場合は適量です。



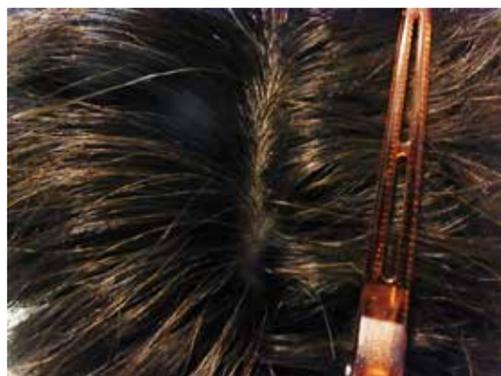
●1ヶ月半から2ヶ月位、白髪を放置するとこんなに髪の生え際が白く目立ってきます。



●上記の方が通常のヘナパックをしても、オレンジ色のところと黒いところの二色に染まるだけの場合もあります。(状況によることもあります)

- タオルで包み、自然放置します。  
仕上がりの色は放置時間により変わってきます。  
・明るいブラウン系…20分・自然なブラウン系…30分  
・濃いブラウン系…40分  
※これはあくまで「目安」時間です。

- シャンプー剤は使わずにお湯のみで良くすすぎます。  
※ツータッチした日から4日後、通常のヘナパックをします。(その間はシャンプー等は使用しない。お湯ですすぐ程度に。)



●「ツータッチ」をすると、こんなにきれいにムラなく色が入ります。

## ヘナのQ&A

Q ヘナをした後のシャンプーは可能?

A ヘナパックで頭皮と毛穴の汚れを取っているため必要ありません。コーティングするのに24時間かかるので、2日程シャンプーはしないほうが良いです。

Q ヘナの色落ちが心配です。

A ヘナパックが習慣になれば、色落ちはありません。合成シャンプーはなるべく控え、地肌を軽く洗うようにしましょう。

Q 一般にヘナカラーにかかる時間が2時間など長いですが、IPMヘナはなぜ20分で済むの?

A IPMヘナは高品質・新鮮なので発色が良く、短い時間で染めることができます。長時間放置すると体が冷えてしまいます(冷性ハーブを使用のため)。

Q ヘナやインディゴの品質期間はどのくらい?

A 未開封で1年。開封後は酸化を防ぐため密封容器に移して3ヶ月が目安です。

Q ヘナパックした後、頭皮や顔の皮膚がかゆくなりました。

A 長年の生活習慣による反応が出る場合があります。足湯を1日2回続け、かゆみがおさまった後に再開してください。また初回は現状の髪痛みが出る場合がありますが、週1ペースで3回程地肌につけずにパックをすると改善します。

Q ヘナパックはどのくらいの頻度でやるべき?

A 頭皮や髪の状態をベストに保つには、月に1回はしっかりとパックし、週に1度はお風呂で15分程パックするのが理想です。

Q パーマをかけたい。その場合ヘナの使い方は?

A パーマをかけたら早目に根元部分だけパックしてください。頭皮のダメージが回復します。

Q 何度染めてもうまく染まりません…

A 冷え性、薬の服用、カルシウムの減少等、体の状態による場合があります。事前にオイルマッサージや足湯などで補ってください。